

# 学校図書館

No.27



# Take Off!

特集：学習会 「学研の昆虫図鑑で遊ぶ」

読書会の記録、会のご案内

## 八王子の学校図書館

八王子の学校図書館に司書さんが派遣されてから数年たち、それまでの図書館がずいぶん整備され、また活用もされてきています。ボランティアさんと、図書館司書の経験もあまりない教員主体では、それまでの学校図書館は図書の間蔵としての存在でしかなかったのです。ただ、八王子もまだ道半ばで、司書さんは各小中学校に原則週に一度の勤務でしかありません。子供たちの成長の糧になる読書、子供たちの積極的な学習を支えるための資料探しなど、文科省や教育委員会が強く推進している「主体的な学習」を支えるためには、当然の事、毎日子どもたちを後ろから支えてくれる存在として、学校司書さんが必要です。

学校司書さんと話をしていると、週一日の勤務では、その学校の子どもたちへの読書や調べる学習をサポートするには時間的に限界があると話されています。もっと深い仕事をしたいのにと残念そうに話されます。忙しい先生たちの学習指導を後ろから支えてくれる学校図書館の司書さんがもっと増えるよう行政の努力を期待しています。

(宮本茂)

## 特集 「学研の昆虫図鑑で遊ぶ」

2023年11月19日 八王子市中央図書館



十一月十九日、学研の牧野嘉文さんをお招きして、新しく出版された「学研の図鑑 L I V E 昆虫 新版」の制作秘話や楽しみ方をたっぷりお話しいただきました。

牧野さんのことは、有隣堂のYouTube「有隣堂しか知らない世界」で出会いました。育てる会のメンバーみんなで何度も視聴しました。子どもたちや親世代も楽しめるかもしれないと早速GAKKENに連絡して熱い思いをぶつけ、来てもらえることとなりました。

会員以外にも昆虫好き、図鑑好きの七組の親子が参加してください。親子対話のあなただけでなく、楽しい時間を過ごせました。大人だけでない子どもも一緒に講演会は牧野さんも大変だったと思います。

☆昆虫図鑑をどうやって作ったの？

昆虫図鑑の基本的な読み方や使い方についてお話くださいました。今回取り上げた『昆虫』の工夫されたことはすべての昆虫が生きた姿で載っていること。「え？どういうこと？」と思いますよね。これまでの図鑑の昆虫の写真は、はく製にしたものを撮った写真がほとんどなのだそうです。体の色が退色してしまったり、体の一部分が死んでしまっていること見えなくなったりする事があるそうです。比べた写真をみせてくださり納得できました。子どもたちが実際に捕まえた昆虫を図鑑で探すときにヒットしやすくなりますね。でもその努力、苦労は計り知れません。一種につき20〜30カット以上も撮影し、その中に一枚いいものがあればいいと話されていました。レッドデータの昆虫などを撮るときには、生息地まで出かけて行き現地撮影されたそうです。昆虫ですから季節も関係ありますからそれを計算に入れながらたくさん種類を載せるのはどんなに大変だったかわかりますね。また、すべての昆虫のグループがページごとに載っています。そして進化の順に載っているので、今はわからなくても大人になったときに体感として思い描くことができるのではないかと、願いもこめられています。幼い時

に出合った図鑑のイメージは残像のように残りますものね。

### ☆図鑑の作り方のコツ

「クイズ」と「なぞなぞ」の違いから、クイズ図鑑をつくるコツを伝授してもらいました。

図鑑の作り方の工夫や仕組みを知ることによって学習や自由研究でどのように図鑑を活用すればよいのかを教えてくださいました。

みなさんは知っていましたか？朝のドラマの主人公にもなった牧野富太郎さんが日本で初めて植物図鑑を作られたこと。そして、学研図鑑のような子どもたちのための図鑑は外国ではあまりないのだそうですよ。日本の子どもたちは幸せですね。年齢に応じた図鑑もありますからね。

図鑑の種類やテーマも科学の発展や新しい組み合わせによって変わってくるでしょう。自分の今の好きを大切に図鑑を活用して楽しんでほしいとお話してくださいました。休憩時間に牧野さんが持ってきてくださったいろいろな図鑑を手にとったり、質問したり、子どもたちも大人も楽しい時間を持つことができました。出席者の感想でも子どもたちから、

「生きているのと死んでいるのでは体の色が違ったり、顔が曲がってしまったりするのが不思議だった。」や、「図鑑の作り方が面白かった、自分の図鑑を早く完成させたいと思った。」など自分の生活の中で図鑑があることが当たり前で自分の図鑑を作っている子がいることもわかり牧野さんもうれしそうでした。

大人からの感想では「フィールドワ

ークの大切さを感じた」「子どもたちが発見した虫を図鑑を活用して知り、さらに興味を深めていけたら素晴らしい」「全て生きた写真で構成されているのにびっくり」「作成された人の話が聴けて今までと違った視点で図鑑を見ることができた」「図鑑の工夫・苦勞・意義が分かる講演だった」など、大人も子どもと一緒に楽しめる図鑑の再発見ができたようです。学校図書館や図書館にはもちろん揃えたいですが、興味のある分野の図鑑は身近において必要な時にすぐに手に取り一緒に楽しめるとういと感じた時間でした。

(文責 桑原由美)



# 令和5年度は読書会を実施

学校や地域で子どもと本にかかわる活動をしているメンバーも多く、今年度は年間通した読書会を実施しました。一月のテーマ本から紹介します。一

『桜守のはなし』佐藤藤右衛門／講談社

1928年生まれの佐藤藤右衛門さんは1832年から続く京都の造園屋の16代目。14代から桜の育成に力を入れ、日本中の桜の保存、新種の発見につとめ、パリのユネスコ本部の日本庭園もイサム・ノグチと共に手掛けました。花の季節の春だけではなく、夏には害虫の駆除や病気の手当をします。桜は種から育つ種と、接ぎ木で育つ種があります。接ぎ木で育てるためには人間の助けが必要で、乾燥させないように注意を払います。秋の紅葉も種類によって色が違います。冬は桜も内側に向けエネルギーを蓄えます。そのエネルギーを基に植え替えをします。机に向っての勉強だけではなく、代々継いできた技術と桜に向けた愛情が日本中に見事な桜を咲かせているのです。

(文責 澤田順子)

奇数月第4日曜日14:00~16:01

日付	テーマ
7月23日	こわい本
9月24日	スポーツの本
11月26日	プレゼントの本
1/28	春の本
3/24	出合いの本

各自の紹介本のほかに、紹介したい本があれば持参

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症への対応に右往左往した2020年から3年。学校や社会は以前に戻りつつあります。しかし学校ではタブレットの導入に始まり様々な場面でデジタル化が押し寄せているようです。紙とデジタルではなく、子どもたちの学びを学校図書館から考えたいですね。

(お)

読書会は継続して開催します。関心のある方はHPからお問い合わせください。

### 会員募集

#### ・正会員

本会のすべての活動に参加できます。

入会金500円

年会費1000円

#### ・賛助会員

広報紙をお届けします。

本会の活動を支援してくださる方。

年会費1000円

